



伊藤青少年
育成奨学会

奨学会だより

vol.32

令和3年10月1日
年2回発行
(4月・10月)

令和三年度 高等学校等クラブ活動・地域振興 活動助成事業

過去最高額約六千万円で 積極的な助成を展開

伊藤青少年育成奨学会（公益財団法人田代久美子理事長）は、過去最高額となる総額約六千万円の令和二年度高等学校等クラブ活動並びに地域振興活動助成事業を実施します。

令和三年度助成事業への応募団体は、高等学校等助成に五十二校、一〇七クラブ（内運動クラブ七十一年、文科系クラブ三十六）、助成申請額八千九百十二万円余、地域振興団体等二十六団体、助成申請額一千三百一十九万円余で、申請総額は億千一百四十一万円余にのぼりました。

この中から、書類選考による厳正な審査の結果、高等学校等クラブ活動四十校、六十一年度（内スポーツクラブ四十四、文科系クラブ十七）、地域振興団体等十六団体を令和三年度助成団体として認定。助成額は高等学校等クラブ活動四千三百十九万五千八百円（内運動クラブ三千百四万九千八百円、文科系一千一百四十六千円）、地域振興団体一千六百六十万円で、総額は過去最高額の五千九百七十九万五千八百円となりました。

当奨学会は、平成十一年十一月二十七日の設立で、翌平成十二年度から大学奨学生への奨学金給付事業と並ぶ主要事業として、青少年の健全育成ならびに地域社会の活性化に寄与するため、岐阜県内の高等学校や特別支援学校等のクラブ活動や、地域団体等による地域振興活動を支援する助成事業を



<写真:令和三年度高等学校等クラブ活動・地域振興活動助成事業 贈呈式>

被支援団体の紹介 (高等学校の社会貢献事業例)

自走式ロボット草刈り機によるクリ栽培の活性化

岐阜県立農業高等学校 果樹班

地域特産品のクリの栽培は、生産者の高齢化や担い手不足等の課題に直面している。この対策として、自走式草刈り機を導入により効率化、活性化を図ることとともに、若い世代から高齢者まで、幅広い層に向けて新たなクリ栽培の方法を発信していく。

希少種「美濃柴犬」「木曾馬」で地域貢献

岐阜県立大垣養老高等学校 動物研究班

国の天然記念物に指定されている美濃柴犬を令和元年度から飼育し、保存会と連携して種の保存に取り組んでいる。今年度は、繁殖と普及に向け、岐阜大学とも連携し、遺伝子解析や人工授精にも取り組みたい。

また、ヒューマンサービス活動として、木曽馬二頭による障がい者乗馬の開催を目指す。

伊藤青少年育成奨学会 創設10周年記念事業

ごあいさつ

伊藤青少年育成奨学会

理事長 田代久美子

武道場「漱玉館」竣工

公益財団法人伊藤青少年育成奨学会が、創設10周年を記念して、伝統文化の伝承に資することを目的に、昨年度より、可児市大森の株式会社パローホールディングス人材開発センター「漱葉舎」隣接地に建設を進めてきた「武道場『漱玉館』」が竣工、さうぞくつかの施設貸与事業を開始しました。

当選学会は平成十九年、パローホール創業の地である恵那市に「恵那市中央図書館（伊藤文庫）」を寄贈しており、市民の利用率の高い素晴らしい図書館として今日ほど運営されていますが、武道場「漱玉館」は、文武の「武」という領域で、青少年に広く開放していくものだ。

武道場「漱玉館」の周りは石垣や滝、堀が結界となり、神域のような雰囲気を醸し出しています。

祝辞

岐阜県知事

古田 肇

の「尽力」に深く敬意を表します。

折しも東京10/10オコンペック・パローホール

クリでは、柔道・剣手などの武道競技において、日本「漱玉館」の完成に心からお祝い申し上げます。

貴選学会におかれでは、人材育成や地域活性化のため、これまで学生に対する奨学金の給付、学校や地域が行うスポーツ・文化活動等への支援に長年取り組まれております。

このたびの「漱玉館」は、設立10周年を記念して令和元年に整備が計画されました。以来、新型コロナウイルス感染症の影響など様々な困難の中で、完成に導かれた田代理事長はじめ、関係の皆様



公益財団法人伊藤青少年育成奨学会が武道場を作りました。道場の向こうに滝を模した水の風景があり、滝から水が落っこちる音を「漱玉」とひびかせ、「人間を育て磨く意味も」めて、「漱玉館」としました。

戦国の世が終わり、江戸の泰平のなかで、武道は戦じの技術から形而上のものへと変化したように思われます。精神の鍛錬、修養に軸足が移り、道場の造りや意味も五感によるものへの指向が強みました。

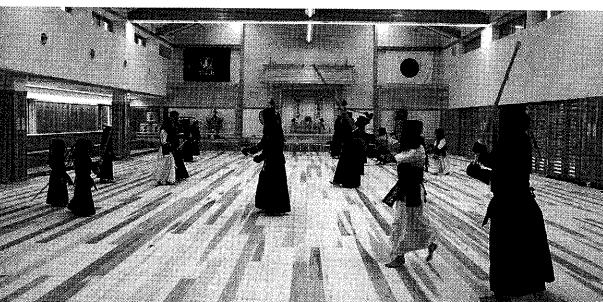
当道場も能舞台になり、道場の床下に収十個を口を上にして納めてあります。木の床板はしなり、素足の稽古をねどりする武道として足腰の負担が軽くなるよう作られていました。武道を修める以上に、精神が晴れやかになり生き方が腑に落ちるとこがうな、良き日本の「」をたまねるために、剣道、薙刀からの練までひらく漱玉館をお使いくださいよお願いいたします。

建物規模は、用地約五千二百平方メートル（パローホールディングスからの賃貸）、鉄骨造平屋建、床面積七百七十分方。剣道競技場施設基準に準拠する剣道競技場

(十一×十一メートル)を二

面設けており、他に師範室、更衣室、シャワー室等も完備しております。

剣道、居合道、薙刀（なぎなた）とつた日本伝統の武道を通じて、青少年の健全育成のために活動する団体や学校、実業団等に貸与するのもで、練習や大会の開催、全国トップレベルの選手を招いての試合、



用料などもホームページに掲載しています。

貸出はホームページを通して行い、利用規則や使

故・李登輝 台湾元総統

追悼特別企画 三

『李登輝さんと八田與一』

伊藤青少年育成奨学会

理事長 田代 久美子

李登輝さんの訪日が可能になつて、李登輝さんは早速金沢に行き、「八田與一」の生地を訪ねた。

同馬遼太郎は「八田與一」を台北に住む謝新發の「忘れられない人」という本で知る。司馬遼太郎の「街道を行く」台湾紀行の案内人蔡焜熾さんに「八田與一」のことを聞くと、「どんな人ですか」と聞かれて、「八田勝三著『台湾を愛した日本人』八田與一の生涯」という本をさがしてくる。

古川勝三氏は九八〇年文部省海外派遣教師として台湾高雄日本人学校で二年間教鞭を執る。その後、台湾に関する本を何冊も表していく。その中に「八田與一」がいた。八田部のたどり着いた嘉南農田水利会の人々をのぞいて「八田與一」は日本、台湾の歴史の中に埋もれていた。それを古川氏、司馬遼太郎によつてようやく広く世に知られる存在になつた。

李登輝さんがいつ「八田與一」を知ったのかはさだかではないが、蔣経国の時代にその片腕となつて農業政策を立憲していくので、その頃には認識があつたと思われる。しかしその頃は表立つて日本人に関することを口にできる時代ではなかつた。

「八田與一」は台湾の不毛の大地、嘉南平野の調査に大正七年着手。大正九年に平野を肥沃な地に変える鳥山頭ダム着工が決まる。完成は昭和五年、当時の日本の最新土木機械・技術が投入され、まる十年間で完成にいたる。日本史上空前の大工事であり、昭和五年完成時は世界一の貯水量を誇つた。また平地に

水利受益者ひじては台湾のものであり、その現地の人々が働くのが本来の姿だつたのである。単純労働を担つた人達は、真っ先に解雇されるのは自分たちだと思つていたので、「八田與一」に感謝したといつ。

八田與一は昭和十七年陸軍に徴用され、大洋丸でフィリピンに調査に向かう途中米潜水艦により撃沈され死んだ。その妻外代樹は終戦十五日後の九月一日、遺児たちに簡素な遺書をのこし、烏山頭ダムの放水口に向かつて身を投じた。

八田與一の東京帝大入学時には留学帰り古市公威教授がいる。フランス留学中、古市の刻苦勉励している姿に下宿の女主人が少し休んだらどうかといふと、古市は「自分が時間休めば、日本が時間遅れる」と答えたといつ。

また直接の師に広井勇教授がいた。小樽港の設計施工をした。「貫して現場の指揮をとり、誰よりも早く現場に行き、誰よりも遅くまで現場に残った。」「コンクリートを自ら練つたといわれる。「設計も大事だが、それ以上に施工と工程管理が大切である」とも言つた。小樽港は日本の港湾のなかでわざわざかけた傑作だとつづつ。

その後東京帝国大学で、土木学を講じた。「広井がいなければ、日本の近代土木は五十年の遅れをとつた」と語られるほど偉大な教育者でもあつた。「なんのために工学はあるのか」という哲学的な話もしきりにした。「工学によつて数日を要するところを数時間に短縮し、一日の労役を二時間に留め、それによつて得られた次官で静かに人生を思惟し、反省し、神に帰るの余裕を与えることになりなければ、我々工学者には全く意味を見出さない」とはだきない。札幌農学校出身を彷彿とさせる言葉である。因に広井は農

業の「水利組合」の技師にすすんで転身したのである。

工事のさなか大正十一年関東大震災が起つて、政府の補助金が途絶えた。「八田與一」は人員整理に迫られ、日本人技師や優秀な人間から解雇した。技術者、優秀な人間は就職先に困らないだろうが、ダメは

たり前のようになつて、公に近くする精神が漲つてゐた。

そのような「日本精神」を李登輝さんほんとにあることに褒めてくれた。自分が受けた日本人としての教育を誇りにしてくれた。戦後の日本人の自虐史観や台灣の蒋介石時代の反日教育を嘆き憤つた。しかしそれらの話はつわば前振りで、李登輝さんの講演の主題はつも刻々と変化する国際社会における日本と台湾の現在とその紐帶の強化、中国の脅威。

一〇二〇年八月、台湾は米トランプ政権からF-16V戦闘機を六六機買つてゐる。やはり二十年前李登輝さんも台湾を(中國の)脅威から守るために軍備を強化しようとした。しかし中国から横やりが入り、アメリカはF-16の戦闘機を売つてくれない。「それなりにこちらにも考えがある」と駄目をきり、フランスからミラージュ戦闘機を六〇機買つた。そうしたらアメリカはやつとF-16を一五〇機売つてくれた。そんな具合に熱弁は続く。李登輝さん個人は確かに敬虔なクリスチヤンでありながら、いかに自分らしくも寒感させられた。



台湾総督府の年間予算が五千万円の時代に工費は一千五百萬円。「嘉南農田水利組合(現在の名称)がつゝられ、受益者が組合員になり、日本政府が補助金を出す」とつゝじつゝ仕組みがとられた。それがけの大工事であるから宿舎街、小学校、病院がつゝられ、「ニースコート、アーチ、アーチ道場もあつた」とつづつ。しかしダメの設計施工の責任者八田與一の家は二十坪あまりの粗末なもので、そこで八人の子供を育てた。東京帝國大学、土木工学科出身の台湾総督府技師かい民間の「水利組合」の技師にすすんで転身したのである。

工事のさなか大正十一年関東大震災が起つて、政府の補助金が途絶えた。「八田與一」は人員整理に迫られ、日本人技師や優秀な人間から解雇した。技術者、優秀な人間は就職先に困らないだろうが、ダメは

最後にこの稿の逸話はほぼ古川勝三氏、司馬遼太郎の書からの抜きであることをお断りしたい。

八田與一に台湾行きを勧めたのは広井である。鳥山頭ダムでの八田與一の仕事ぶりの手本のひとつは広井であつた。そしてまた、哲人たる日本人が当

授 学 生 頑 張 つ て ま す

令和三年五月度報告より

東海学園大学 スポーツ健康科学部 三年生

勝成望 (かつなるみ)

アルセントーで行われる「西日本インカレ」に登場させて頂くため、やれども自分のパフォーマンスを發揮できたりと思ふま。

五月七日～九日にかけて行われた「東海インカレ」で、走高跳優勝、四×100メートルレース三位、走幅跳四位、三段跳四位という結果をおさめる事が出来ました。走高跳は1メートル六四セシチという大会に出場した中でも、良いパフォーマンスを行ひることができました。

今回「コナウイルスの関係で、大会開催 자체も危されました。が、そんな中でも関係者の方々のおかげで開催される」となり、感謝にたえない三日間となりました。

今後、六月十八日～二十二日にかけて、岐阜メモリ



東京藝術大学 音楽学部楽理科 三年生

大堀 さち (おおほり さち)

大学一年生の頃から続けてくる音楽アクトリーチ活動も「コナ禍の影響を受けており、簡単に病院や福祉施設などに赴いて演奏会を開く」ということは未だにできない状況にあります。しかし私は、今まで様々な人々に音楽を届けたいと思っており、現在、色々な方法を模索しています。三回にはオンラインと対面の形式を融合させたアクトリーチを都内の高齢者施設で行いました。これは、ピアノ等の楽器を所有していない施設のために、事前に演奏を収録した動画をお見せつつ、対面で楽曲の解説を行つところなのです。これまで、樂器の無い施設には出向くことが難しかったのですが、「コナ禍でオンラインとこう手法が一般的になつた」とこの課題を払拭できると感じつきました。

また、「コナ禍の影響を受けたことで、私の中の「アクトリーチ」の対象となる範囲が広がつたよつた気がします。以前は「アクトリーチ」とは、病院や障がい者施設、高齢者施設など、「ハンサー」ホールに足を運ぶことが難しい方々のための「ハンサー

ト、ところイメージを強く持つてました。しかし、アクトリーチ活動がオンライン化しきつる中で、アクトリーチはそのような方々以外にも音楽に興味を持つていただくなつかけになりうるのではないかと思つました。

今後も、現状の中から様々なアイデアを見出し、活動に貢献していかるよう、自分自身の周りの状況と向き合って、学習していく所存です。

東京藝術大学 美術学部工芸科 二年生

吉本 安莉 (よしもと あんり)

私は鍛金専攻に進みました。むしむと金属といつ素材に関心があつたことと、作品制作をするつて最初から最後まで自分の手元で作業を行えるといつこと。金属でハンマーで打ち鍛えることによつて、作品を造形してつづつ、素材との対話性に興味を持ったといつことが理由です。金槌や、当て金など道具作りから学び始め、今は鍋や花器を銅絞りという技法をもつて製作しています。最初はなかなか銅板が絞れなかつたり、槌目(金槌を打つ時に銅板に残る跡のこと)がバラバラで、全体の形までもがぼじぼじになつてしまつたり、なかなかうまくいくいませんが、次第にうまく打てるようになり、技術の向上が目に見えて現れてくるのはひともつれしげです。

一年生のつねは鍛金の分野の基礎を、与えられた

名古屋大学 文学部人文学科 四年生

熊崎 帆乃花 (くまざき ほのか)

大学の研究室では、愛知県東栄町の伝統文化であり、国指定の重要無形民俗文化財である「花まつり」に関する研究を行つています。

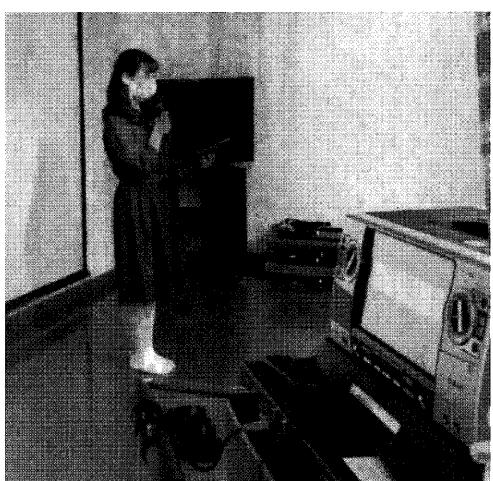
長じ歴史を持つ「花まつり」ですが、街の人口の減少により、若じ世代の祭りの担い手に爛して問題を抱えています。このことから、私たちが、子どもたちが楽しみながら「花まつり」について学ぶことができ

課題をやつして学ぶので、自分の作品と呼べるようなアートは製作しませんが、三年生に上がると同時に自分の作品を作り始めるので、今はその準備をしたいと思ひます。

課題をやつして学ぶので、自分の作品と呼べるようなアートは製作しませんが、三年生に上がると同時に自分の作品を作り始めるので、今はその準備をしたいと思ひます。

また、「コナ禍の影響を受けたことで、私の中の「アクトリーチ」の対象となる範囲が広がつたよつた気がします。以前は「アクトリーチ」とは、病院や障がい者施設、高齢者施設など、「ハンサー」ホールに足を運ぶことが難しい方々のための「ハンサー

る機会が必要だと考へ、小中学生を対象にした謎解き企画を発案しました。実際に展示される資料を絡めながら、「花まつり」の歴史や伝統を探検するような気持ちで、そして謎解きにワクワクしながら「花まつり」について学ぶもう一人をつくりました。現在は地元の教育委員会の方々と連携しながら、今年十一月の実施に向け準備を進めています。



「この本をあなたにも薦めたい」

伊藤青少年育成選手会 事務局長 加納志貴



漢の武帝は絶対の存在

著： 中島 敦（なかしまあつし）

発行： 岩波文庫 二〇〇四年第十七刷
『山月記 李陵他九篇』より

『李陵（りりょう）』

今年度からの臨床薬物動態学教室への配属が決まり、研究室では与えられたテーマに関して、先生や先輩方の助けを得ながら自身で文献検索や実験手法の計画立て、さらに実際に実験を行っています。研究テーマは骨代謝について、破骨細胞の分化成長を抑制する」と「骨粗鬆症を改善する薬」である。アノスマーフの詳しい薬理作用を調べる」とです。現在は作用を評価するためのワット実験系を構築し、さらに既存薬よりも活性の強い薬を開発したいと考えております。

春季休暇中に危険物取扱者の資格勉強をしました。難易度自体はそこまで難しいものではありませんでしたが、私が実際に使ったことがある試験などが危険物に指定されてることが多く、それぞれの物性や消火方法などを詳しく学ぶよい機会となっていました。

結果として「WPO症候群」ではなく「房室結節エントリー性頻拍」という病気による動悸であった事や、心室中隔にある、人には余分なケント束は「Nodo-Ventricular Fiber」という非常に珍しい

卒業研究で取り扱った作家、作品は、中島敦「山月記」です。中島敦の「山月記」は、清朝の説話集「唐人説會」のなかの「人虎伝」という話を素材にして作られています。そこで私は、卒業研究の中で、「山月記」と「人虎伝」を比較すること、「山月記」を読み解していくところを研究を行います。しかし、研究を行ってはじめて問題点もあります。それは、先行研究が多く、自分のオリジナリティを出すのが難しい点があります。「山月記」に限らず、古典の作品等を典拠に持つ作品は、その二つの作品の比較から行う研究は数多くされてきています。そのような中でも、自分が最初から行っていたと考えていた、比較による研究において、先行研究には無づつみな研究を行っため、現在は「人虎伝」の作品分析自体も行っていないとおもっています。これまでの先行研究では、「山月記」と「人虎伝」の違いに着目し、「山月記」の作品分析を行つものが多いくらいませんでした。「人虎伝」の作品分析、「山月記」の作品分析をまずは別々に行つ、その作品分析を比較することで、新たに視点が生まれてみると感じます。

よりよい卒業論文が完成させられるように、精進していきましょう。

富山大学 医学部看護学科 二年生
小川 文華（おがわふみか）

現象で、治療は不要である事が分かった。成功したと語れないが、手術は終わつた。手術は富山大学付属病院で行った。

春休みの三月中旬に手術をした。元々、中学一年生の頃から「WPO症候群」という不整脈の種の病気の診断を受けていた。動悸の発作が増えてきた事もあり、主治医の先生と話し合ひ、カテーテル手術にふみあつた。

結果として「WPO症候群」ではなく「房室結節エントリー性頻拍」という病気による動悸であった事や、心室中隔にある、人には余分なケント束は「Nodo-Ventricular Fiber」という非常に珍しい

漢の武帝は絶対の存在でした。
何よりも武帝は大君主である、他の他の人の欠点にもかかわらず、「君がある限り、漢の天下は微動だもしない。高祖はしおりて描（お）くとするも、仁君文帝（ぶんじんじ）も名君景帝（けいじ）むじの君に比べれば、やはり小ぢな。ただ大きいものは、その欠点までが大きく写つてるのは、これほやねたべなし。

武帝は北辺を脅かす匈奴の徹底的討伐を決意し、じくだけか兵を動かした。第回の遠征は、天漢二年、甘肅の方面に向かって行われてしる。武将李陵が、不運な戦闘の結果、文字通り矢折れ刀つきで匈奴に降つたのは、この戦でのことである。

漢の勢威の絶頂に当つて五十余年の間を臨した武帝だが、その中に後ずつ、靈魂の世界への不安な関心につままれて、生来（じょゆういこ）闇達（かうたつ）だつた彼の心に、年と共に群臣への暗い猜疑を植えつけ行つた。帝を取巻くものは、佞臣（ねじしん）に非（あら）すよば酷吏（くげい）であつた。

中島敦「狼狽記」より

人生といふものは、螺旋（りんせん）と階段を登つて行くようなものだ。一つの風景の展望があり、また廻（ひさまわ）り上つて行けば再び同じ風景の展望にぶつかる。最初の風景と（番田のそれとはほほとんと同じだが、しかし微（かす）かながら、第一のそれがやや遠くほど見えるのである。第一の展望にまだ達してしる人間にほその僅かの違いが解らない。第一の場所にいる人間も自分と全く同じ眺望しかもち得ないと思つてゐるのだ。事實、話す言葉だけを聞いてれば、一人の間にはほんと差異はないのだかい。

た転じて権力の中枢に参画する身とわかる。

圧倒的な運命のもとに弄（ねじねそ）ばれる人た

ち。
司馬遷は、史記に云つ、「天道 是か非か」。

「人、如何に生べくもや」。

中島敦（一九〇九～一九四一）の文章の特色は、漢文調（かんぶんしゅう）に云ひ、硬質な文体にある。漢字表現による極めて圧縮された表現は、読み手の論理的抽象力と結びつて、深くえぐらせる。「李陵（りりょう）」は、中島文学最高といわれる作品だが、他にも、中国古典に取材し、これに肉づけをした「山月記」「弟子」などの諸作品がある。一度は正対して読んだせつ。

現象で、治療は不要である事が分かった。成功したと語れないが、手術は終わつた。手術は富山大学付属病院で行った。

私はそもそも、入院（じゆう）のか「点滴（てんてき）」初めてで、導尿（とうりう）や麻酔（まび）と、未知の体験ばかりであった。看護学生として、技術として習つた導尿を、自分が患者として経験したり、塩分制限のある病院食を食べたりし、辛い事は多くあった。自分が実際に患者として経験したことは、私にとって大きな糧（りょう）となつた。

これをこれから的人生に活かしていきたい。

初心忘れずに・・・

昨年十一月に、脳の虫篩腫の切除手術を受けました。顔の痺れがきつかけで診断を受けたといい、脳に異常があることがわかり、すぐに入院することとなりました。これまでに大きな降我や病気をしたことがなかつたので、不安で仕方ありませんでしたが、担当してくださった医師や看護師の方々の尽力もあり、無事に退院することができました。約一ヶ月の入院生活を経験して、一日一日を噛み締めて生活をしなければならないと痛感しました。「明日死んでもじぶ」といつような言葉を耳にすることができ、あながち間違いではないと思います。それくらの意識で日々生活をし、後悔のないものにしたいです。

愛知教育大学 教育学部初等教育教員養成課程 三年生
安井 香妃 (やすひ かおり)

四年間に長年にわたり、ご支援を頂き本当に有難うございました。大学生活を有意義に過ごし、精神的にも安定した生活を送ることができたのも、奨学金を支給して頂いたお陰であると、心から感謝しております。私は四年間から岐阜県内の高等学校にて国語の講師として働かせて頂いております。慣れない仕事に日々苛立ちながらも、温かい先生と生徒達に囲まれ、充実した毎日を送ることができます。これからも学び続ける姿勢を忘れず、立派な社会人になれるよう努力してまいります。その頑張りが私にできる感謝の表明だと考えます。最後になりましたが、職員の皆様のご健康新規団体の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。

二月に椎間板ヘルニアを発症してしまい、手術を受けました。「月は入院し、リハビリを行い、大学を休んでしまった。自分のやりたかったらしく、やるべきことの優先順位を判断できず、できないうじくつまんでしまったことがあります。大学生活でしかできなうことを行つた反面、身体的、自分のキャバシティー的にできなうことがあり、日々かかるうじくつかなかつたことが多くありました。大学生活でしかできないことを行つた方がいいことが多かったです。この意識で日々生活をしていました。

一年生の一年間、名古屋市教職インターーンに参加し、実際の教育現場の中で学びを体感することができました。また、サークルのキャンプカウントやラーニング活動から、児童が安全に野外教育活動を行えるように安全面、ルールの徹底、ケアマネジメント、活動的目的、方針などを考え、教員に必要な視点を得ることを重点的に行つてきました。自分の人間の能力、資質を向上できるように日々努力していきます。

頑張ることで感謝を表明

岐阜大学教育学部国語教育講座 卒業生

山本 結月 (やまもと ゆいづき)

四年間の長年にわたり、ご支援を頂き本当に有難うございました。大学生活を有意義に過ごし、精神的にも安定した生活を送ることができたのも、奨学金を支給して頂いたお陰であると、心から感謝しております。

私は四年間から岐阜県内の高等学校にて国語の講師として働かせて頂いております。慣れない仕事に日々苛立ちながらも、温かい先生と生徒達に囲まれ、充実した毎日を送ることができます。これからも学び続ける姿勢を忘れず、立派な社会人に

なれるよう努力してまいります。その頑張りが私にできる感謝の表明だと考えます。

島田 薫 (しまだ みれ)

李登輝さんの記事について、「自我を排し客観的に解決策を考へ、冷靜に強固な意志で遂行した」といつ言葉が特に印象に残りました。日本の教育で学んできました。自分にそのままの精神が身についたことは、まだ思えません。また、学

いたお陰であると、心から感謝しております。

愛知教育大学 教育学部初等教育教員養成課程 三年生
日置 南智 (ひおき なち)

私は四年間から岐阜県内の高等学校にて国語の講師として働かせて頂いております。慣れない仕事に日々苛立ちながらも、温かい先生と生徒達に囲まれ、充実した毎日を送ることができます。これからも学び続ける姿勢を忘れないでください。

「卒業生の話」を読み、私も頑張らなくてはと意欲を一層

高めることができました。田端みすほさんの「患者が自分らしく生きる」といつ言葉は、同じ医療に関わる者として大事にしたいと思いました。先輩方は様々な場面で活躍をなさつております。自分のやりたかったらしく、得意なこと、好きなことを追求する姿はとてもわかりやすく、私もやうなりたいです。

授業内容は、パソコン操作の仕方や経済学、政治学、数学など多岐にわたつて履修しておられます。難しい内容も多いですが、仲間と一緒にながら、毎日樂しく学ばせていただけております。

五月からの春学期は全てオンライン授業となつてしまつたが、目標を持って勉学に励んでこぎたいたいと思います。日々は、大学生生活に慣れるのに必死でした。

「口口ナゾではありますか、多才な仲間からの刺激が少しども受けられるように、週二、三回はキャンパスに通じ、対面式の授業を受けにきました。残りは田舎にいて、いつも欠かさずオンライン授業を受けにまわる。

日本人として誇れる自分でありたい

岐阜大学医学部看護学科 五年生

島田 薫 (しまだ みれ)

李登輝さんの記事について、「自我を排し客観的に解決策を考へ、冷靜に強固な意志で遂行した」といつ言葉が特に印象に残りました。日本の教育で学んできました。自分にそのままの精神が身についたことは、まだ思えません。また、学

いたお陰であると、心から感謝しております。

私は四年間から岐阜県内の高等学校にて国語の講師として働かせて頂いておりま

す。慣れない仕事に日々苛立ちながらも、温かい先生と生徒達に囲まれ、充実した毎日を送ることができます。これからも学び続ける姿勢を忘れないでください。

「卒業生の話」を読み、私も頑張らなくてはと意欲を一層

高めることができました。田端みすほさんの「患者が自分らしく生きる」といつ言葉は、同じ医療に関わる者として大事にしたいと思いました。先輩方は様々な場面で活躍をなさつております。自分のやりたかったらしく、得意なこと、好きなことを追求する姿はとてもわかりやすく、私もやうなりたいです。

授業内容は、パソコン操作の仕方や経済学、政治学、

数学など多岐にわたつて履修しておられます。難しい内容も多いですが、仲間と一緒にながら、毎日樂しく学ばせていただけております。

五月からの春学期は全てオンライン授業となつてしまつたが、目標を持って勉学に励んでこぎたいたいと思

います。日々は、大学生生活に慣れるのに必死でした。

「口口ナゾではありますか、多才な仲間からの刺激が少しども受けられるように、週二、三回はキャンパスに通じ、対面式の授業を受けにきました。残りは田舎にいて、いつも欠かさずオンライン授業を受けにまわる。

初志せざれる べからず

五月二十日締切の「学業・生活状況報告書」未提出者が一人にも上りました。

報告書遅延の事由を明記して申請し、認められれば奨学金の給付は復活しますが、必ず復活するという訳ではありません。もちろん、申請がなければ、そのまま退会ということになります。

今回の場合、すぐに気づいた八人は「移動願」を提出して復活することとなりました

が、残る三人はいまだ何の連絡もありません。

昨年度も三人が給付停止で退会となっています。大人相手に、こちらからいちいち連絡を取ることはしません。初心を忘れることなく、約束を守りましょう。

今年度も三人が給付停止で退会となっています。大人相手に、こちらからいちいち連絡を取ることはしません。初心を忘れることなく、約束を

守りましょう。

訂 正

本紙令和三年四月号一面に記載した「令和三年度奨学生四十八人内定」の記事中、「岐阜高等専門学校」とあるのは、「岐阜工業高等専門学校」の誤りでした。お詫びして訂正させていただき

ます。

公益財団法人
伊藤青少年育成奨学会



〒507-0062 岐阜県多治見市大針町661番地の1
株式会社パローホールディングス本部内
※Eメールアドレス、電話番号はホームページでご確認願います。
<https://www.ito-zaidan.or.jp>



発行 公益財団法人
伊藤青少年育成奨学会
印刷 新日本印刷株式会社